

中学校統合検討比較表1 (校舎のみ)

| 比較項目 | | パターン1 | | パターン2 | | パターン3 | |
|------------|-----------|--|--------------|---|--------------|---|--------------|
| | | 唐瀬原中に統合 (国光原中廃校) | | 国光原中に統合 (唐瀬原中廃校) | | 新設中に統合 (既設2校廃校) | |
| コスト (※) | 建設・改修コスト | | 2,840,784 千円 | | 2,574,337 千円 | | 2,548,000 千円 |
| | 経常的修繕費 | | 143,296 千円 | | 130,685 千円 | | 141,733 千円 |
| | 電気代 | | 133,847 千円 | | 98,554 千円 | | 93,996 千円 |
| | コスト総額 | | 3,117,927 千円 | | 2,803,576 千円 | | 2,783,729 千円 |
| | 最低額との差 | | 334,198 千円 | | 19,847 千円 | | - |
| コスト (※) | コスト試算の考え方 | <ul style="list-style-type: none"> 1,584㎡の校舎を1棟増築 既存校舎は全て築30年以上のため、80年使用するために大規模改造と長寿命化改修を行う 教室棟は2051年、管理棟は2053年に建替え 建替えコストには既存建物の取壊し費用と仮設校舎の費用を含む | | <ul style="list-style-type: none"> 2,169㎡の校舎を1棟増築 教室棟2棟は大規模改造と長寿命化改修を行ったうえで、築80年目の2049年と2059年に建替え 老朽化が進んだ技術教室は2024年に建替え コンクリート圧縮強度の数値が低く長寿命化が望めない管理棟は2033年に建替え、その後20年目で大規模改造 建替えコストには既存建物の取壊し費用と仮設校舎の費用を含む | | <ul style="list-style-type: none"> R6~7年に新設 建築後20年目に大規模改造工事 | |
| 学校 施設 | 校舎総延床面積 | 5,491㎡ | | 5,130㎡ | | 6,370㎡ | |
| | 校舎 | <p>増築する校舎以外の校舎では、メインの建物2棟が築40年超のため、今後40年間にその2棟の更新(要仮設校舎)が必要となるほか、全5棟で長寿命化改修・大規模改造工事が必要となり、学校運営面での支障が多い。 増設校舎の用地が課題となる。</p> | | <p>増築する校舎以外の校舎4棟が全て築40年超であり、健全度が低い(健全度18~75)ため、今後40年間に全4棟の更新が必要となり、その度に仮設校舎での運営を要することになる。 増設校舎の用地が課題となる。</p> | | <p>全て新校舎となり、校舎の安全面や環境面での課題がクリアされる。</p> | |

※コストは、2022~2061年の40年間の総額を試算